

# ガイアホールディングス株式会社

## 2012年12月期第2四半期決算説明会資料

2012年8月10日

### 注意事項

本資料には、2012年8月10日現在の当社及び当社グループの将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれておりますが、その性質上、国内外での経済動向・市場の需要・為替レート・税制等の制度変更といった潜在的リスクや不確定要素によって変動する可能性が存在します。当社は、このような情報内容を保証するものではなく、株主および投資家の皆様がこのような情報を使用されたことより生ずるいかなる損害についても責任を負うものではありません。この資料に含まれている数値は単位未満切り捨て、比率は単位未満四捨五入にて表記しております。

# 目次

<b>1. 第2四半期業績概況</b>	<b>3</b>
<b>2. 財務概況</b>	<b>7</b>
<b>3. セグメント別の事業実績概況</b>	<b>13</b>
(1) ソフトウェア基盤技術事業の概況(国内・海外)	13
(2) コンテンツ・サービス等事業の概況	21
① 株式会社ジー・モード	21
② 株式会社アニメインターナショナルカンパニー	27
<b>4. 2012年12月期の業績予想</b>	<b>33</b>

# 第2四半期業績概況

---

ガイアホールディングス株式会社  
取締役社長 鈴木 智也

# 第2四半期累計期間業績サマリ

## ハイライト

2012年12月期第2四半期累計期間業績(2012年1月1日～2012年6月30日)

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
ガイアホールディングス連結業績	当第2四半期	3,858	-627	-632	-701
	前第2四半期	4,492	45	22	-160
ソフトウェア基盤技術事業	当第2四半期	1,121	-582		
	前第2四半期	1,696	-64		
コンテンツ・サービス等事業	当第2四半期	2,739	-44		
	前第2四半期	2,800	109		

ソフトウェア基盤技術事業及びコンテンツ・サービス等事業の売上高並びに各損益は、セグメント間の相殺消去及び修正(連結固有の手続き)前の売上高並びに損益です。

# 第2四半期会計期間業績サマリ

## ハイライト

2012年12月期第2四半期会計期間業績(2012年4月1日～2012年6月30日)

(単位:百万円)

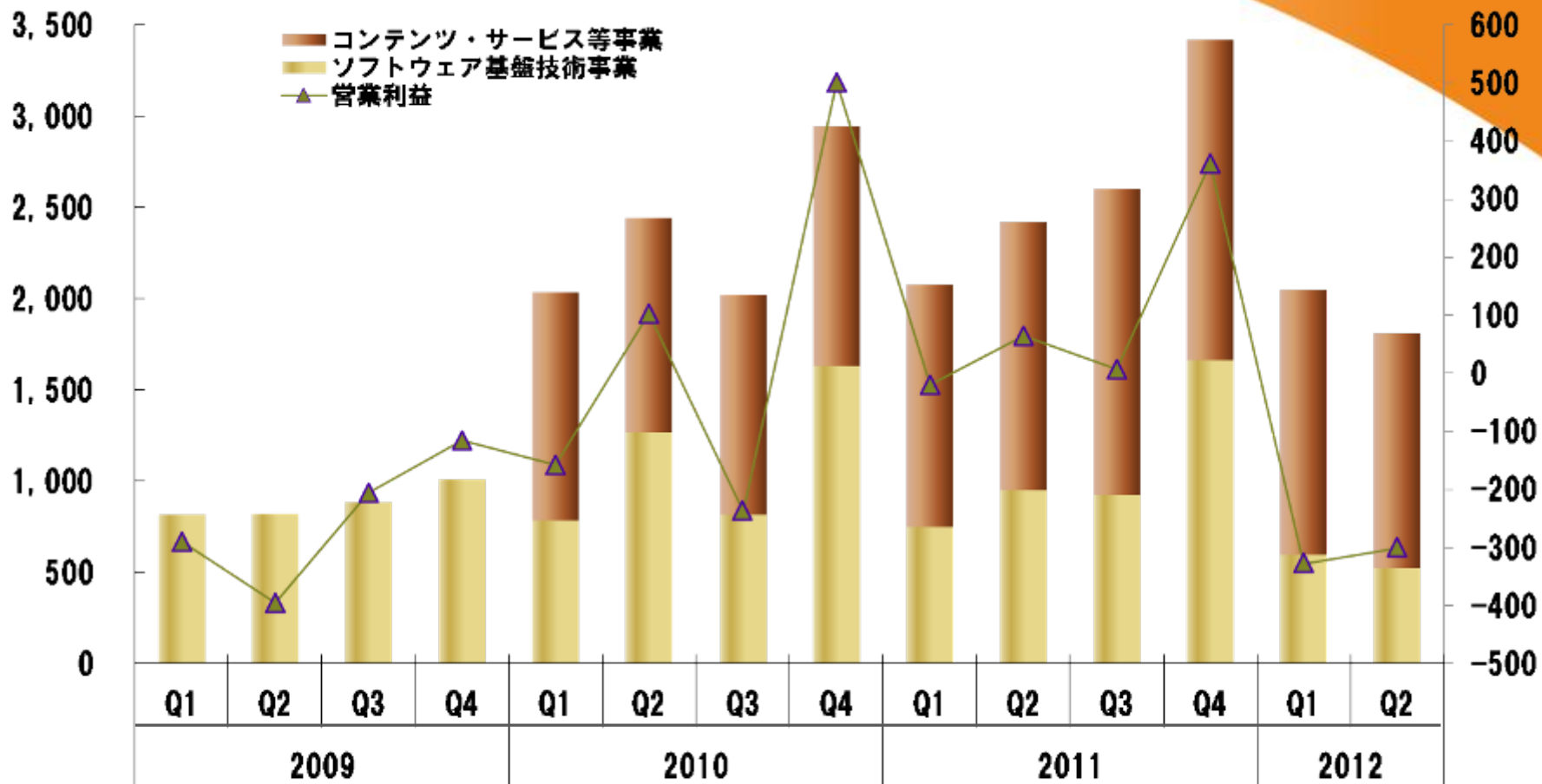
		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
ガイアホールディングス連結業績	当第2四半期	1,809	-300	-317	-322
	前第2四半期	2,416	64	60	-3
ソフトウェア基盤技術事業	当第2四半期	523	-348		
	前第2四半期	948	118		
コンテンツ・サービス等事業	当第2四半期	1,287	48		
	前第2四半期	1,468	-54		

ソフトウェア基盤技術事業及びコンテンツ・サービス等事業の売上高並びに各損益は、セグメント間の相殺消去及び修正(連結固有の手続き)前の売上高並びに損益です。

# 連結売上・利益推移

(単位:百万円)

(単位:百万円)



# 財務概況

---

ガイアホールディングス株式会社  
常務取締役 伊藤 洋

# ガイアホールディングス連結 主要損益

(単位:百万円)

	2011							2012		
	1-3	4-6	上半期	7-9	10-12	下半期	通期	1-3	4-6	上半期
売上高	2,075	2,416	4,492	2,594	3,415	6,010	10,502	2,049	1,809	3,858
(前年同期比)	1.9%	-1.1%	0.3%	28.4%	16.0%	21.0%	11.2%	-1.3%	-25.1%	-14.1%
売上原価	1,229	1,513	2,743	1,712	2,169	3,881	6,624	1,603	1,389	2,992
(原価率)	59.2%	62.6%	61.1%	66.0%	63.5%	64.6%	63.1%	78.2%	76.8%	77.6%
販売費および 一般管理費	864	838	1,703	875	883	1,758	3,461	773	720	1,493
(対売上比率)	41.6%	34.7%	37.9%	33.7%	25.9%	29.3%	33.0%	37.7%	39.8%	38.7%
営業損益	-19	64	45	7	362	370	416	-327	-300	-627
経常損益	-37	60	22	-6	369	362	384	-315	-317	-632
当期損益	-156	-3	-160	43	626	670	510	-378	-322	-701



# ガイアホールディングス連結 主な費用

(単位:百万円)

	2011					2012	
	1-3	4-6	7-9	10-12	通期	1-3	4-6
<b>売上原価</b>	<b>1,229</b>	<b>1,513</b>	<b>1,712</b>	<b>2,169</b>	<b>6,624</b>	<b>1,603</b>	<b>1,389</b>
<b>主な製造費用</b>							
<b>労務費</b>	525	615	592	564	2,298	609	641
<b>対売上原価比率</b>	42.7%	40.6%	34.6%	26.0%	34.7%	38.0%	46.1%
<b>外注費・業務委託費他</b>	203	373	543	578	1,698	434	513
<b>対売上原価比率</b>	16.5%	24.7%	31.7%	26.6%	25.6%	27.1%	36.9%
<b>支払ロイヤリティ     (ソフトウェア基盤技術事業)</b>	84	93	91	110	380	48	45
<b>対売上原価比率</b>	6.8%	6.1%	5.3%	5.1%	5.7%	3.0%	3.2%
<b>減価償却費</b>	238	226	224	464	1,153	179	199
<b>対売上原価比率</b>	19.4%	14.9%	13.1%	21.4%	17.4%	11.2%	14.3%
<b>販売管理費</b>	<b>864</b>	<b>838</b>	<b>875</b>	<b>883</b>	<b>3,461</b>	<b>773</b>	<b>720</b>
<b>主な費用</b>							
<b>労務費</b>	336	290	290	279	1,197	265	278
<b>対販管費比率</b>	38.9%	34.6%	33.1%	31.6%	34.6%	34.3%	38.6%
<b>研究開発費</b>	58	28	19	26	132	42	45
<b>対販管費比率</b>	6.7%	3.3%	2.2%	2.9%	3.8%	5.4%	6.3%
<b>合計</b>	<b>2,094</b>	<b>2,351</b>	<b>2,587</b>	<b>3,052</b>	<b>10,086</b>	<b>2,376</b>	<b>2,109</b>

# ガイアホールディングス連結 貸借対照表

(単位:百万円)

	2011年 12月期 期末	2012年 第1四半 期末	2012年 第2四半 期末
<b>流動資産</b>	<b>12,269</b>	<b>11,422</b>	<b>10,949</b>
現預金	4,504	4,778	5,026
受取手形及び売掛金	1,634	1,255	1,082
有価証券	5,130	4,581	3,965
棚卸資産	640	468	571
その他	403	384	351
貸倒引当金	-43	-46	-47
<b>固定資産</b>	<b>3,117</b>	<b>3,148</b>	<b>3,447</b>
有形固定資産	116	114	106
無形固定資産	2,147	2,194	2,241
のれん	823	769	715
ソフトウェア	1,219	1,176	1,180
ソフトウェア仮勘定	78	228	330
その他	25	20	15
投資その他の資産	853	838	1,099
投資有価証券	268	250	202
その他	584	587	896
<b>資産合計</b>	<b>15,387</b>	<b>14,570</b>	<b>14,396</b>

	2011年 12月期 期末	2012年 第1四半 期末	2012年 第2四半 期末
<b>流動負債</b>	<b>1,831</b>	<b>1,281</b>	<b>1,529</b>
支払手形及び買掛金	486	429	367
未払金	405	258	271
前受金	507	207	510
賞与引当金	70	90	76
その他	361	295	303
<b>固定負債</b>	<b>11</b>	<b>8</b>	<b>6</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,843</b>	<b>1,289</b>	<b>1,535</b>
<b>資本金</b>	<b>13,264</b>	<b>13,264</b>	<b>13,264</b>
資本剰余金	1,064	—	—
利益剰余金	-233	452	122
自己株式	-8	-10	-10
その他の包括利益累計額	-495	-378	-467
新株予約権	-47	-47	-47
少数株主持分	—	—	—
<b>純資産合計</b>	<b>13,544</b>	<b>13,280</b>	<b>12,860</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>15,387</b>	<b>14,570</b>	<b>14,396</b>

# ソフトウェア基盤技術事業

## 主要損益

(単位:百万円)

	2011							2012		
	1-3	4-6	上半期	7-9	10-12	下半期	通期	1-3	4-6	上半期
売上高	747	948	1,696	927	1,661	2,588	4,284	598	523	1,121
(前年同期比)	-4.6%	-25.3%	-17.3%	13.5%	1.6%	5.5%	-4.9%	-19.9%	-44.8%	-33.9%
売上原価	483	475	958	557	821	1,378	2,337	451	448	900
(原価率)	64.7%	50.1%	56.5%	60.1%	49.4%	53.2%	54.6%	75.4%	85.7%	80.3%
販売費および 一般管理費	446	354	801	333	344	677	1,479	380	423	803
(対売上比率)	59.7%	37.3%	47.2%	35.9%	20.7%	26.2%	34.5%	63.5%	80.9%	71.6%
営業損益	-183	118	-64	36	495	532	468	-233	-348	-582

セグメント間の相殺消去及び修正(連結固有の手続き)前の売上並びに損益です。

# コンテンツ・サービス等事業

## 主要損益

(単位:百万円)

	2011							2012		
	1-3	4-6	上半期	7-9	10-12	下半期	通期	1-3	4-6	上半期
売上高	1,332	1,468	2,800	1,672	1,756	3,429	6,229	1,451	1,287	2,739
(前年同期比)	5.8%	25.1%	15.1%	36.8%	33.7%	35.3%	25.4%	8.9%	-12.3%	-2.2%
売上原価	749	1,039	1,788	1,155	1,350	2,505	4,294	1,152	941	2,093
(原価率)	56.2%	70.8%	63.9%	69.1%	76.9%	73.1%	68.9%	79.4%	73.1%	76.4%
販売費および 一般管理費	417	483	901	541	538	1,080	1,982	392	297	690
(対売上比率)	31.3%	32.9%	32.2%	32.4%	30.6%	31.5%	31.8%	27.0%	23.1%	25.2%
営業損益	164	-54	109	-24	-132	-156	-47	-93	48	-44

セグメント間の相殺消去及び修正(連結固有の手続き)前の売上高並びに損益です。

# セグメント別の事業実績概況

## ソフトウェア基盤技術事業の概況(国内・海外)

ガイアホールディングス株式会社  
取締役社長 鈴木 智也

# 総括(ソフトウェア基盤技術事業)

## 海外

- スマートフォンへの移行が進んでおり、Samsung、Motorola Mobility Inc.、Huawei Technologies Co., Ltd.等の大手携帯電話端末メーカーのフィーチャーフォンへの「JBlend」の搭載数に影響を与えております。
- 中国市場においてもスマートフォンへの移行が加速しており、海外市場でのJBlend搭載数が減少傾向になり、当第2四半期連結累計期間の売上に影響しております。
- APAC地域においては、スマートフォンへの移行を新たなビジネスチャンスと捉え、複数のプラットフォーム向けにグループ保有のコンテンツタイトルを対応させ、コンテンツ供給による売上への貢献に向けて取り組んでおります。

# 総括(ソフトウェア基盤技術事業)

## 国内

---

- 前年度において、既存資産の早期マネタイズを行ったことと、フィーチャーフォンの予想通りの減少を受け、既存製品の製品売上が前年同半期比で減少となりました。
- 一方、国内市場における出荷台数の50%を超える勢いで販売されているスマートフォンに追随した売上が堅調に推移しました。
- 顧客のスケジュール変更等により、スマートフォン向け製品において、当第3四半期連結会計期間以降の計上になったこともあり、国内市場を総合すると前第2四半期連結累計期間に比べ約30%の減少となりました。



## DE(M2M)

---

- **ソフトウェア基盤技術事業の主力事業会社である株式会社アプリックスと、同事業セグメントのiaSolution及びZeemote Technologyと共同開発したインテリジェントなM2M向け新製品をIT系大型展示会に出展し、数多くの動体デモンストレーションでさまざまな活用事例を披露しました。**
- **本製品は、あらゆる機器に組み込んでスマートフォンから機器をコントロールし、もともと機器側に搭載されていない機能を追加・拡張できる点等が、技術力や先進性の面で高く評価されました。**



# 総括(ソフトウェア基盤技術事業)

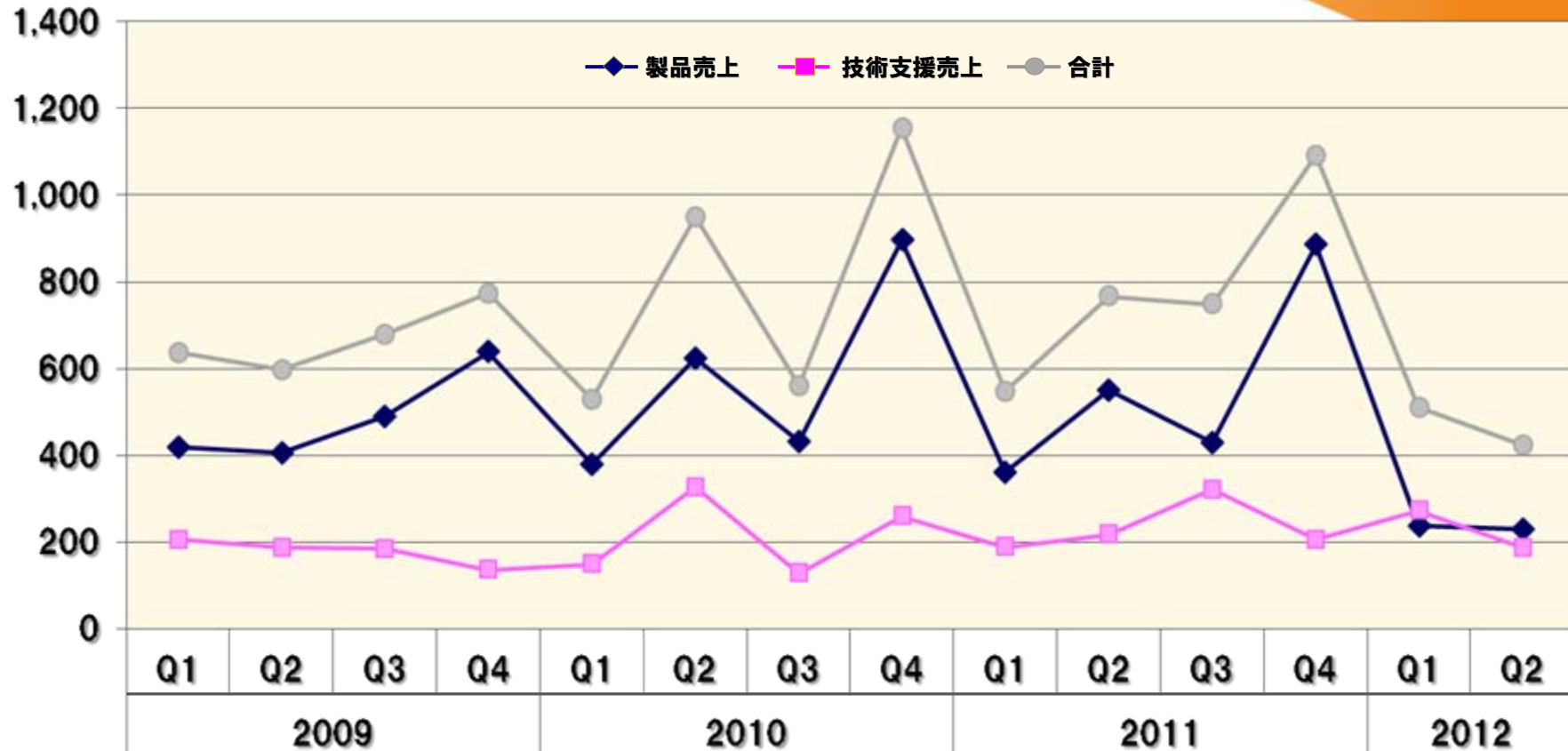
## DE(M2M)

---

- **また、各業界の多数のメーカーやサービスプロバイダーからの高い関心だけでなく、多くのメディアにも注目され、日本経済新聞をはじめ全国紙・専門紙の新聞紙面やWeb媒体、またテレビ東京の「ワールドビジネスサテライト」をはじめとする民放キー各局の情報番組等において、「あらゆる身近な機器をスマートフォンやネットにつなげる優れた技術」として紹介されました。**
- **今後は、国内外のさまざまな業界のあらゆる製品に搭載されるよう、事業を加速させていく予定です。**

# 品目別の売上推移(日本)

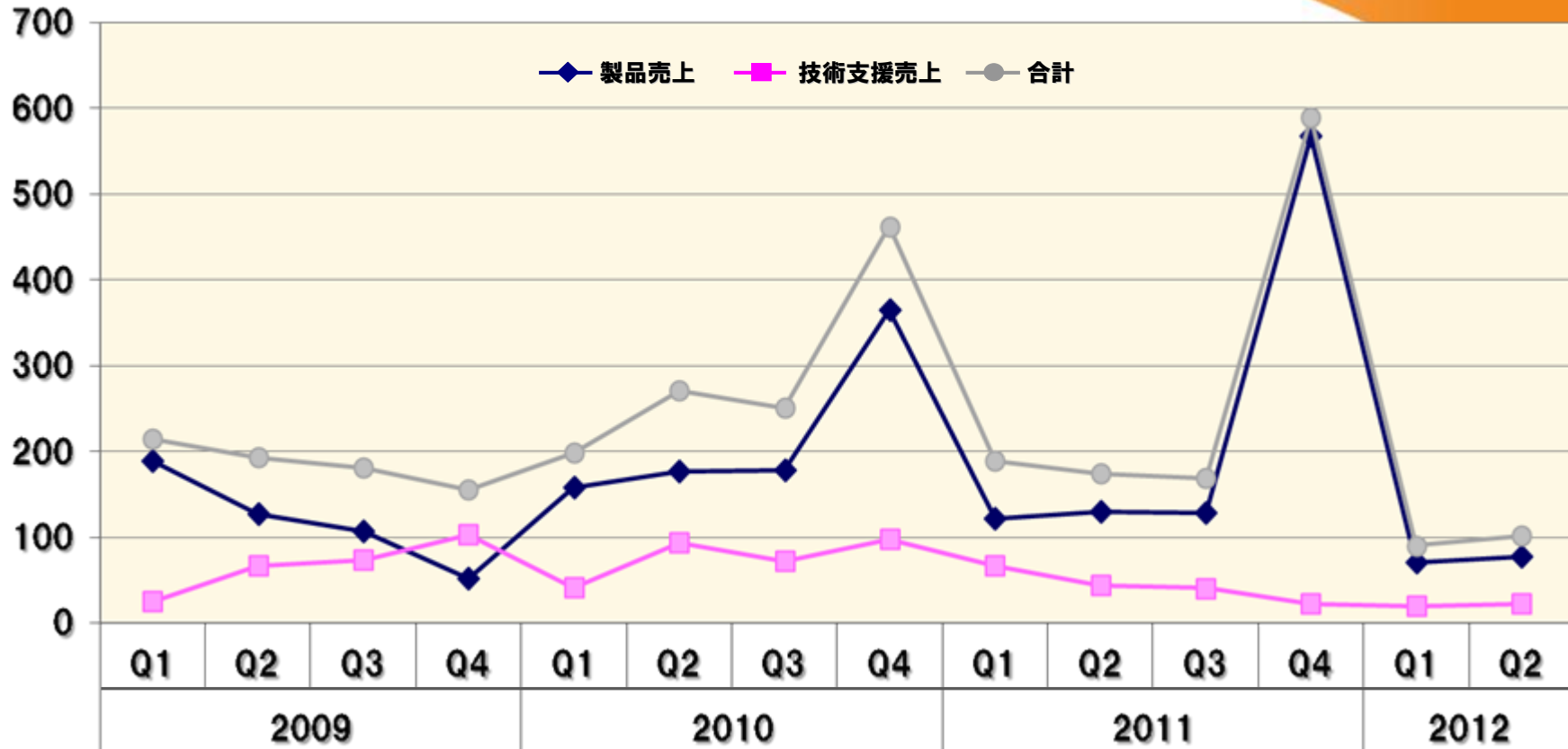
(単位:百万円)



(注)このページのグラフは、地域ごとの売上の推移を実態として示すために、全期間について2012年第2四半期の期中平均レート(1NTD 2.715JPY, 1USD 80.4JPY, 1EUR 103.35JPY)を使って外貨を円単位に換算することで、為替変動の影響を排除しています。また、地域の区分は顧客の所在地ではなく実際に営業・開発・サポートを行っている事業所が属する地域での区分となっております。

# 品目別の売上推移(アジア)

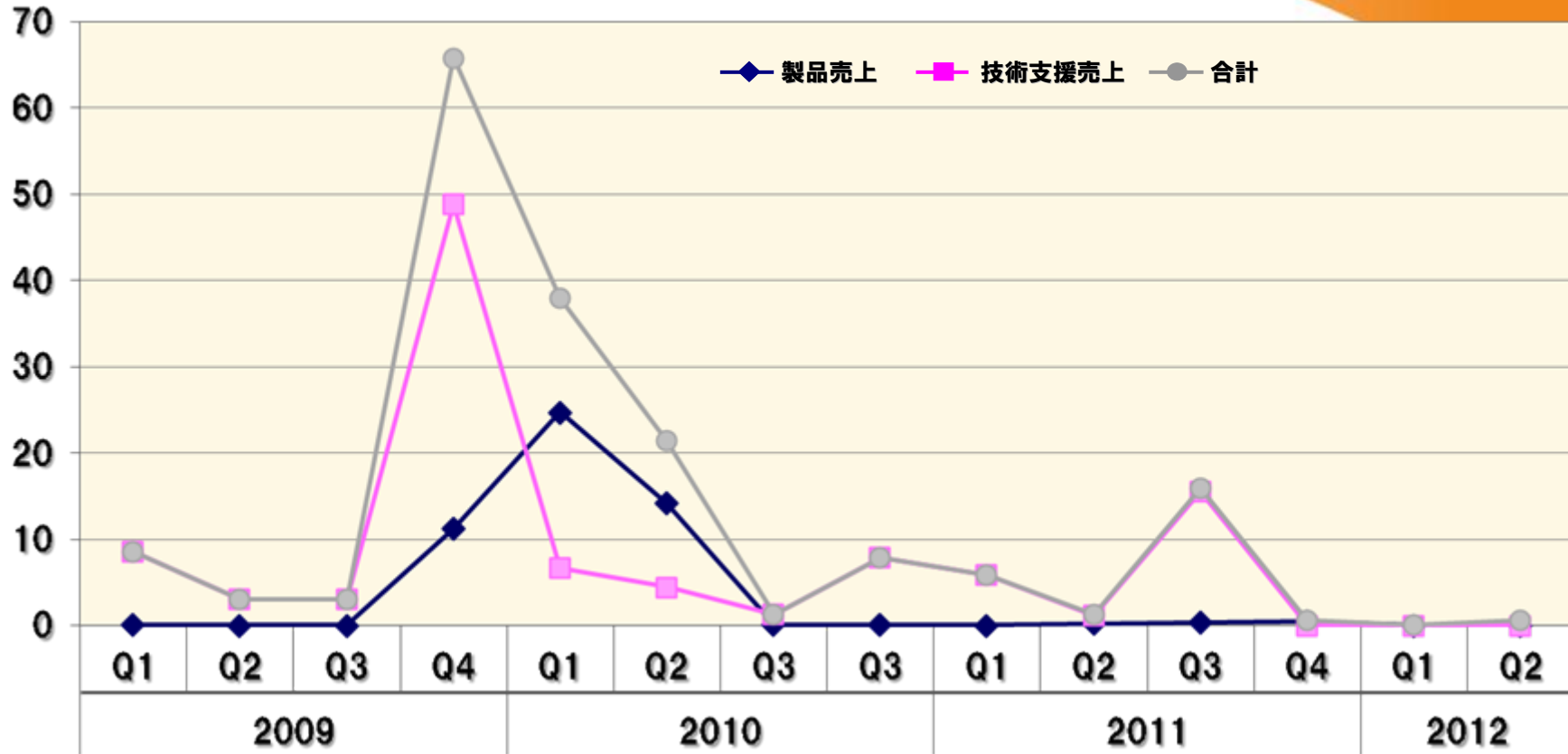
(単位:百万円)



(注)このページのグラフは、地域ごとの売上の推移を実態として示すために、全期間について2012年第2四半期の期中平均レート(1NTD 2.715JPY, 1USD 80.4JPY, 1EUR 103.35JPY)を使って外貨を円単位に換算することで、為替変動の影響を排除しています。また、地域の区分は顧客の所在地ではなく実際に営業・開発・サポートを行っている事業所が属する地域での区分となっております。

# 品目別の売上推移(欧米)

(単位:百万円)



(注)このページのグラフは、地域ごとの売上の推移を実態として示すために、全期間について2012年第2四半期の期中平均レート(1NTD 2.715JPY, 1USD 80.4JPY, 1EUR 103.35JPY)を使って外貨を円単位に換算することで、為替変動の影響を排除しています。また、地域の区分は顧客の所在地ではなく実際に営業・開発・サポートを行っている事業所が属する地域での区分となっております。

# セグメント別の事業実績概況

---

## コンテンツ・サービス等事業の概況

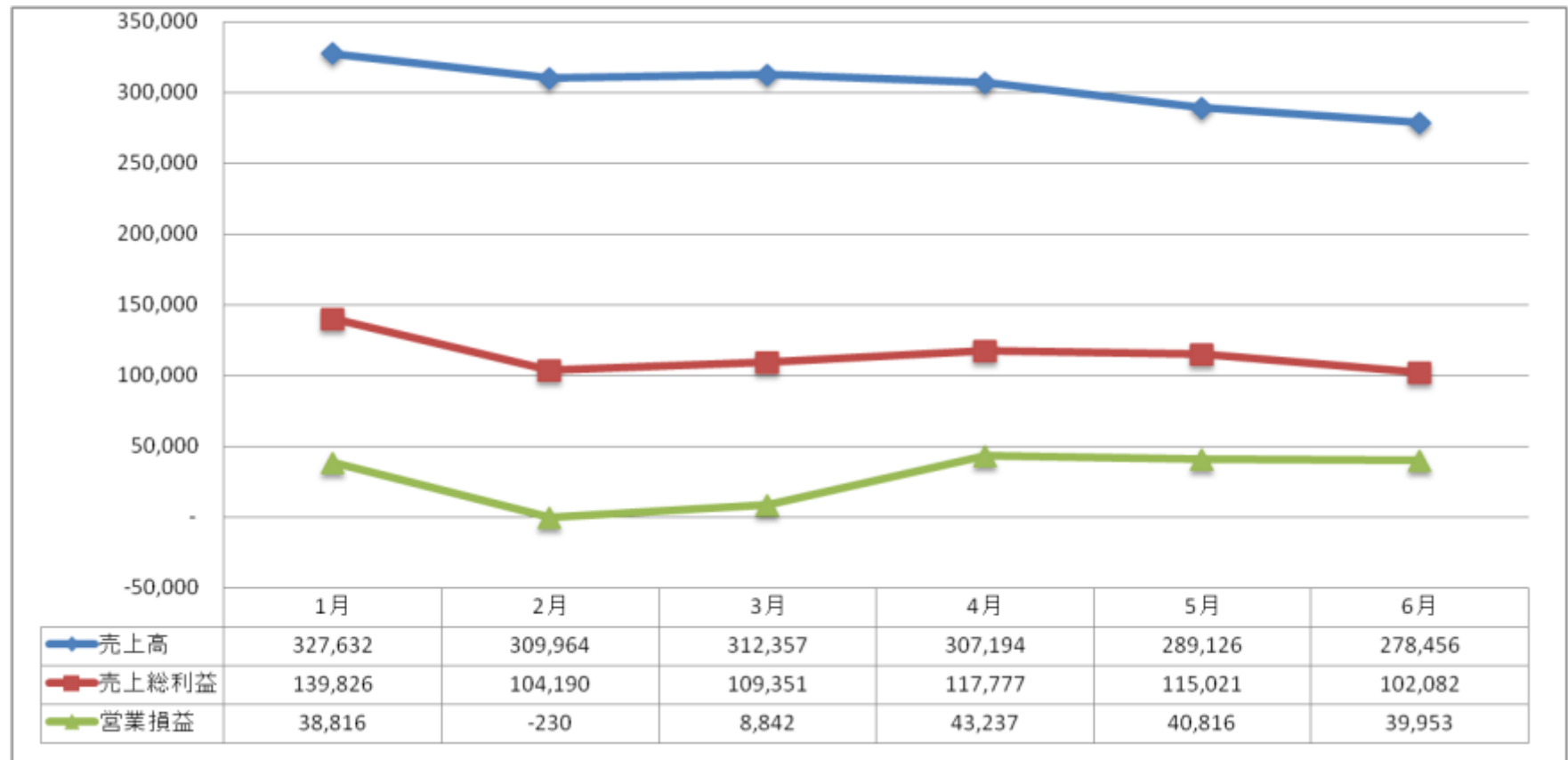
株式会社ジー・モード  
取締役 桑原 敏道

# 売上/営業利益推移

## 2012年1月～2012年6月

- フィーチャーフォン向け公式コンテンツ売上の減少トレンドが続くものの、売上総利益・営業利益は回復傾向に。

(単位:千円)





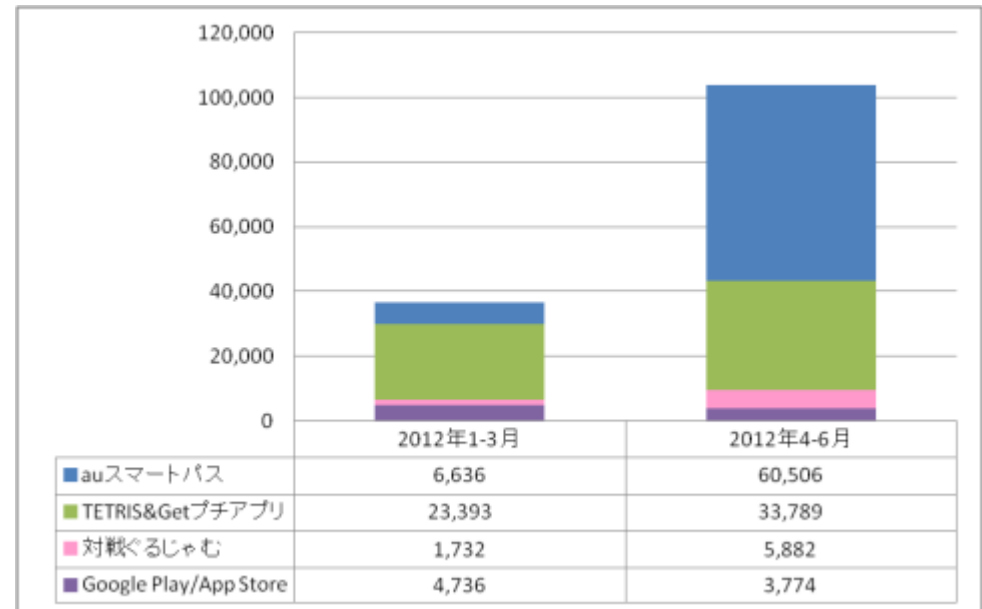
# スマートフォン向けコンテンツ

2012年1月～2012年6月

- 2012年3月1日に開始した「auスマートパス」に、当社の人気アプリ「空気読み。」などを積極的に投入いたしました。



(単位:千円)



# WEBコミック「COMIC メテオ」

2012年4月～

- 2012年4月25日に登録不要で読める、ハイクオリティ少年WEBコミック誌「COMIC メテオ」を創刊いたしました。
- 「ハッコ」でアニメ化の実績を持つ真田ジュイチ先生の新作連載「危ノーマル系女子」や、人気ゲーム「フライハイトシリーズ」のコミカライズに加え、新人作家の作品の配信にも注力いたします。今秋より、随時単行本化して全国書店にて発売する予定です。



©G-mode



©真田ジュイチ



©ユキラ



# メディアミックスプロジェクト第一弾 『片翼のクロノスギア』

2012年6月～

- グループ会社であるアニメインターナショナルカンパニーとの共同プロジェクト「片翼のクロノスギア」を開始いたしました。2012年6月12日 Amebaにてソーシャルゲームを配信開始。7月より「COMIC メテオ」でコミック連載を開始し、更に8月のコミックマーケットではOVAの発売を予定しています。



コミック「片翼のクロノスギア  
～The promise of engage～」  
原作:G-mode 漫画:さき千鈴

©G-mode

# 課題と取り組み

## スマートフォン向けコンテンツの開発体制強化とヒット作品を生み出す環境作り

- **メディアミックスが可能なスマートフォン向けのタイトルに集中投資を行う。また、人気ゲームの続編及び新作を戦略的にリリースし、コンテンツブランド力を強化する。**
- **総合エンターテインメント戦略の中核となるコミック編集部のも更なる強化。連載作品の拡充と女子向け媒体の準備。**
- **フィーチャーフォン向け公式コンテンツ市場の縮小に対応した、運営手法の見直しや更なるコストの削減。既存サイトの統廃合。**

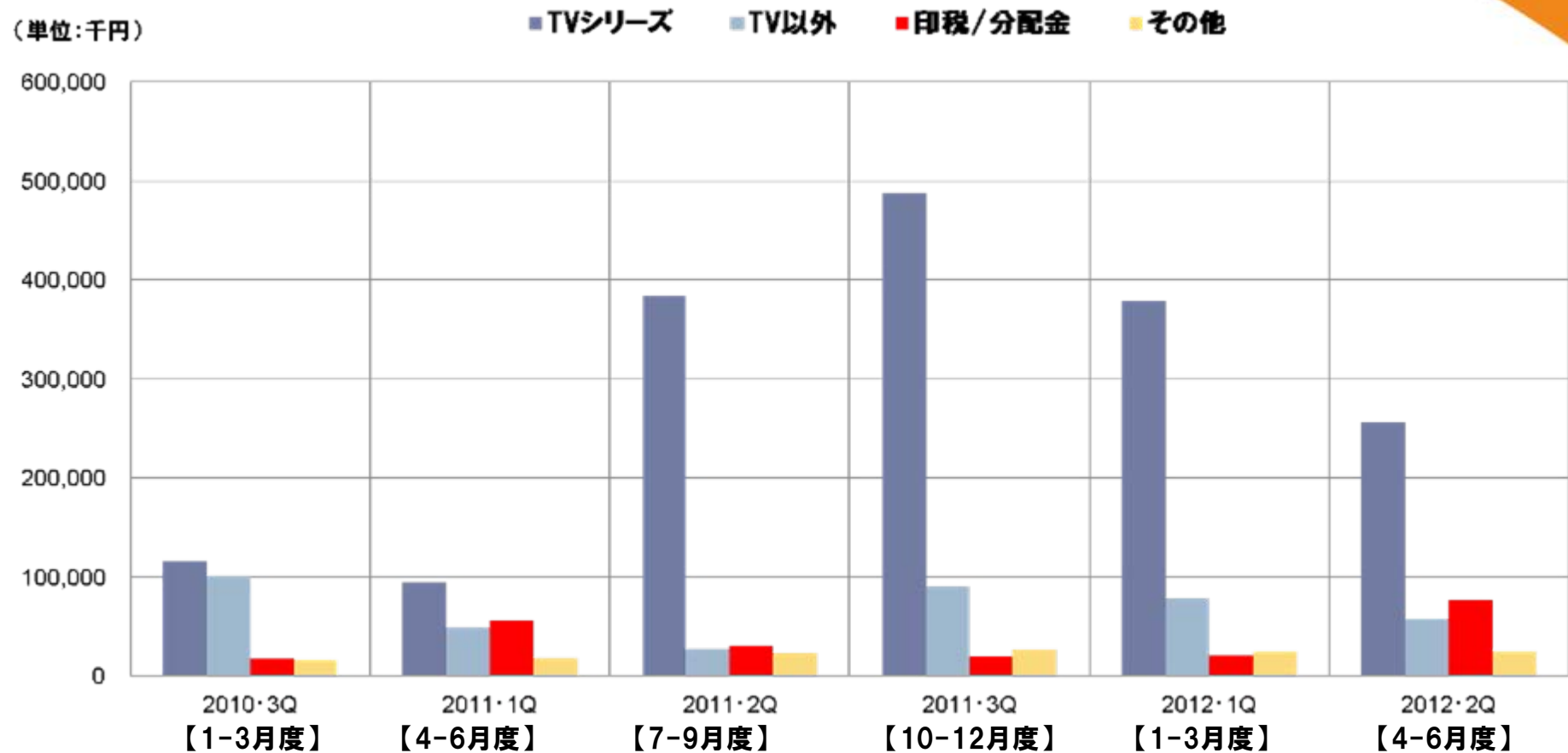
# セグメント別の事業実績概況

---

## コンテンツ・サービス等事業の概況

株式会社アニメインターナショナルカンパニー  
代表取締役社長 三浦 亨

## 四半期別売上高推移表





## 第1四半期2作品、第2四半期1作品が売りに寄与

第1四半期には昨年10月から放映の「ペルソナ4」に加え「アマガミSS+ plus」が売りに寄与しましたが、第2四半期のTV放送作品は「あっちこっち」(TBS系列)の1作品でした。

しかし、第3四半期(7月-9月放送)TV番組は3作品あり、その一部を6月に納品し、売上計上いたしました。「ペルソナ4」は、第2四半期にも、パッケージ販売用音楽PV、特典映像の追加制作受注がありました。

(単位:千円)



4月～放送番組



©異識・芳文社/  
あっちこっち製作委員会



7月～放送番組



©2012 田中ロミオ、  
小学館/  
妖精社



©2012 すかぢ・  
狗神煌/角川書店/  
海老栖川高校  
天悶部

©sprite/  
fairys・恋チョコ製作委員会

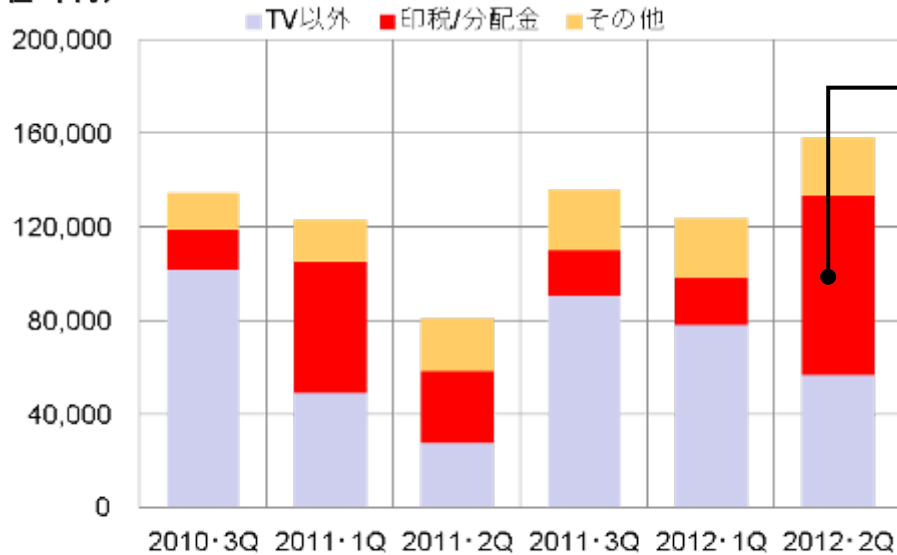
# TV以外のアニメ制作及び権利収入

TV作品以外のアニメーションは、「宇宙戦艦ヤマト2199」の売上が第3四半期にずれただため、本四半期の制作売上は減少しました。人気作品の「ストライクウィッチーズ2」「ペルソナ4」「劇場版そののおとしもの 時計じかけの哀女神」の3作品を含む権利収入(制作印税と出資分配金)の売上比率が上がっています。尚、「ストライクウィッチーズ 劇場版」(3月劇場公開)の商品化は好調でしたが、パッケージ販売が10月になり、権利収入の大半は来期(2013年1-3月期)になります。

©2011 水無月すう/角川書店/  
新大陸発見部フォルテ



(単位:千円)



©Index coporation/  
「ペルソナ4」製作委員会

©2010第501統合戦闘航空団 活動写真

# 課題と取り組み-1

## グループシナジー効果と新しいアニメーション制作への取り組み

- Gモードのゲームソフト「片翼のクロノスギア」のコミック事業展開と同時に、オリジナルアニメーションを制作
- デジタル制作ツールを使用したアニメーション制作実験開始
- オリジナル企画を世間に認知させ、新しいビジネスチャンスを生み出す実験アニメーション制作と露出方法の探求
- 上記実験の為の作品：  
「マジでオタクなイングリッシュ！  
りぼんちゃん」  
(2012/7/31～AT-Xにて放映開始)



©POP/AIC



©G-mode



# 課題と取り組み-2

## 作品の制作効率の向上と、人モノ金の重点作品への投下

- **制作予算・実行の精度向上と利益改善のための管理体制の強化**
- **優秀な人材を社員化して確保・育成すると共に、  
外注先の協力・効率的利用を促進するための契約条件の見直し**
- **重点作品には企画(プリプロ)投資を行い丁寧に育成する一方、  
通常作品には予算とスケジュール厳守で確実な売上をめざす、  
メリハリのある制作体制を構築する**
- **ヒットした作品を丁寧に育て、AICのブランド力を高めると共に、  
ヒット作品の続編制作受託増やヒット作品の出資比率増により、  
制作売上と権利販売収入をより安定的に高める**



# 2012年12月期の業績予想

---

ガイアホールディングス株式会社  
取締役社長 鈴木 智也

# 2012年12月期の業績予想

## 通期連結業績予想

売上高	11,000 百万円
営業利益	500 百万円
経常利益	418 百万円
当期純利益	116 百万円
一株当たり当期純利益	11.24 円

**ありがとうございました。**